

～ こだいらの **未来** のための計画～
(仮称)小平市第四次長期総合計画
策定状況 ニュースレター

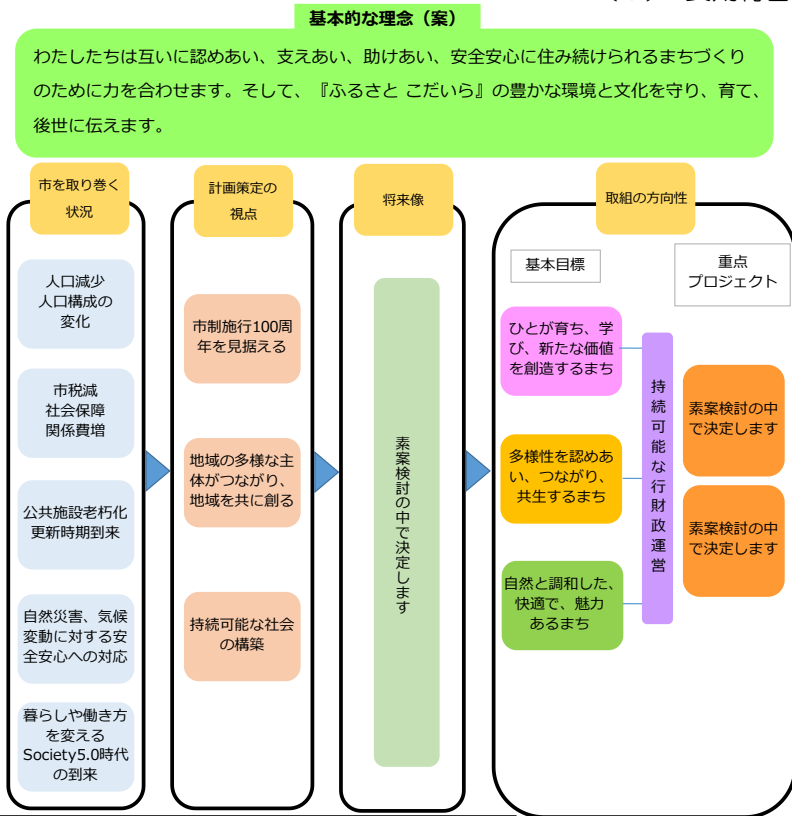
第14号
 (令和2年3月)
 ※不定期発行

小平市では現在、新たな「長期総合計画」(※)の策定に取り組んでいます。策定状況や取組について、広く市民の皆様にお知らせするため、不定期でニュースレターを発行しています。

(※)「長期総合計画」については、裏面をご参照ください。

**第5回小平市長期総合計画
 基本構想審議会が開催されました**

令和2年3月12日木曜日の午後、小平市役所で、第5回の小平市長期総合計画基本構想審議会が開催されました。
 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴は中止となりました。)
 左図は、第四次長期総合計画の現段階での全体の構成案です。1月20日から2月19日の間に実施した、骨子案に対する意見募集等の結果も踏まえ、素案に向けて肉付けを行っていきます。



審議会の主な意見

| 基本的な理念について | 将来像の考え方 | 取組の方向性 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 「互いに認めあい、支えあい、助けあい」は非常に良い理念。合わせて、小平市のイメージが沸いてくるような肉付けができると良い。 「わたしたち」が、自分ごととして小平市のまちづくりを考える上で良い。 「わたしたち」がどこまでなのか、そしてどう自覚を持ってもらえるか。 わかりやすく、イメージできる言葉遣いを。 | <ul style="list-style-type: none"> 「共に創る」は大切な視点。 障がいを持つ方のための施設が複数ある。優しいまちだと感じている人も多く、小平市の良さとしてのキーワード。 若い世代が安心して次の世代につなぐためには、安全なまちづくりが基本。 重大な危機に直面している。持続可能な社会の構築、対応する力、次世代を育むために何が求められていくのか、それを考える機会を与えられている。 | <ul style="list-style-type: none"> 全てはひとづくりが基本。学びや教育の重視を。 全世代、元気にはつらつと過ごすためにも働きやすい場づくりが必要。 様々にある小さなコミュニティを繋げていく。 7つの駅がある特徴をいかし、コンパクトシティの観点から駅前の充実を。 SDGsの分かりやすい目標と、小平市の取組を結びつけることも考えられる。 |



小平市長期総合計画基本構想審議会の会議録(要旨)や会議資料は、小平市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

第6回長期総合計画基本構想審議会は、以下のとおり開催します！

日時 令和2年5月7日(木) 午後3時～
場所 中央公民館2階 講座室2
傍聴 先着10名程度

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更などが生じた場合は、小平市ホームページでお知らせします。



「あっ、小平ってこんなところ!」（(仮称)小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集より）

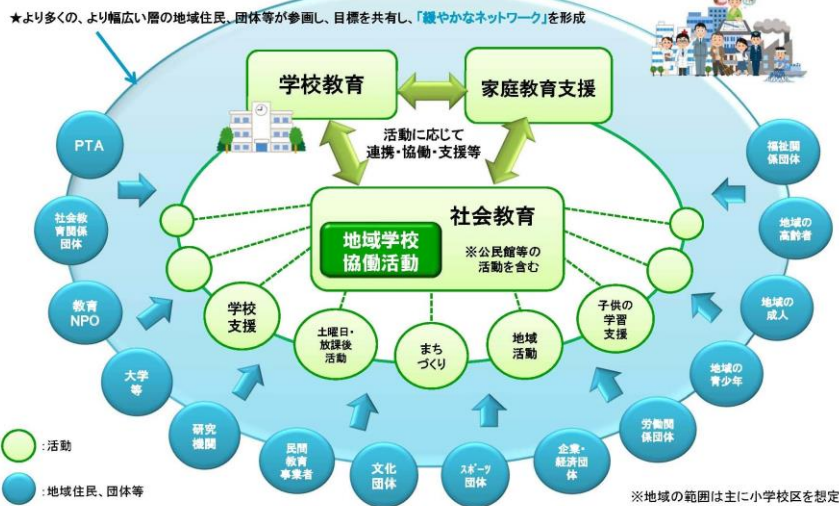
（仮称）小平市第四次長期総合計画の策定に向け、市政や市を取り巻く状況を把握し、市民の皆様と共有することを目的として作成した『(仮称)小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集～あっ、小平ってこんなところ!～』の中から、小平市をより知っていただく内容をお届けします。

『基礎資料集』99ページから115ページでは、小平市に様々な存在する「地域」の仕組みやその考え方についてまとめています。

下図は、その中で紹介している、文部科学省の「地域学校協働活動」の概念図です。地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えることが示されています。

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図） 資料3-3

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地縁団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の再生・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。



小平市では、地域と学校がパートナーとして、ともに子どもたちの成長を支え合う継続的な体制づくりを目指しており、コミュニティ・スクール推進事業や小平地域教育サポート・ネット事業、放課後子ども教室推進事業などを推進しています。

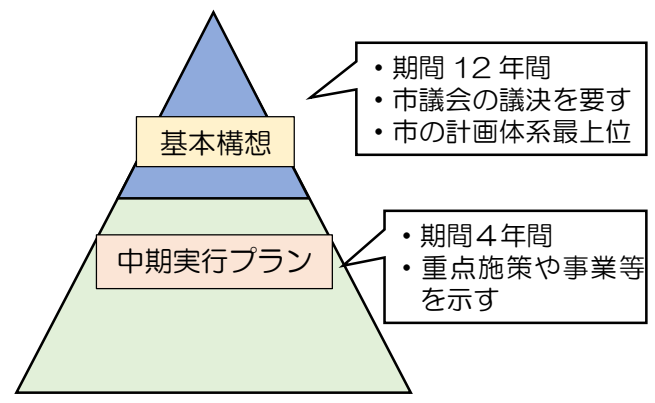


『(仮称)小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集～あっ、小平ってこんなところ!～』は、小平市ホームページの他、小平市役所1階市政資料コーナーや小平市内の各図書館でご覧になれます。また、販売もしています。

（※）長期総合計画って何？

市の将来像や進むべき方向性を示す計画です。長期総合計画は、市議会の議決を必要とする「基本構想」を含んでおり、この「基本構想」は市の計画体系の最上位に位置づけられます。現在策定を進めている「(仮称)小平市第四次長期総合計画」は、右の図のとおり「基本構想」と「(仮称)中期実行プラン」の2層構造を想定しています（両方を合わせて「長期総合計画」といいます）。「基本構想」の計画期間は12年を想定しており、「(仮称)中期実行プラン」の計画期間は、市長任期に合わせた4年間を想定しています。

「(仮称)小平市第四次長期総合計画」模式図



分野ごとの計画（都市計画マスタープラン、地域保健福祉計画等）は、最上位である「基本構想」に基づいて策定しているんですね。

【問合せ先】
小平市企画政策部政策課
総合計画担当
電話：042-346-9503
FAX：042-346-9513